

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年2月19日
中国運輸局

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
広島県生活交通対策協議会	広島電鉄(株) 湯来系統	五日市駅南口～杉並台団地～湯来 ロッジ前	系統の適切な計画について引き続き関係自治体と検討する。	A	A	今後、地域公共交通網形成計画及び再編実施計画の策定過程において、系統の適切な計画について関係自治体と協働で検討する。	各系統は計画どおり適切に運行されており、評価できる。 今後、地域公共交通計画及び地域公共交通利便増進実施計画の策定の中で関係自治体等と連携し、公共交通ネットワークの形成に取り組んでもらいたい。 リアルタイム運行情報を提供するバス到着時刻検索サイト「Bus it」も利用者に浸透してきており、SNS等で観光・アクセス情報を公共交通機関の安全性も含めさらに積極的にPRしていただきたい。	
	広島電鉄(株) 三段峡系統	広島バスセンター～可部・加計～三段峡	系統の適切な計画について引き続き関係自治体と検討する。	A	A	今後、地域公共交通網形成計画及び再編実施計画の策定過程において、系統の適切な計画について関係自治体と協働で検討する。		
	広島電鉄(株) 三段峡系統	広島バスセンター～広島IC・戸河内IC～三段峡	系統の適切な計画について引き続き関係自治体と検討する。	A	A	今後、地域公共交通網形成計画及び再編実施計画の策定過程において、系統の適切な計画について関係自治体と協働で検討する。		
	広島電鉄(株) 琴谷系統	広島バスセンター～安佐営業所～琴谷車庫	系統の適切な計画について引き続き関係自治体と検討する。	A	A	今後、地域公共交通網形成計画及び再編実施計画の策定過程において、系統の適切な計画について関係自治体と協働で検討する。		
	広島電鉄(株) 今吉田系統	広島バスセンター～可部・小浜・大釘～今吉田公民館	系統の適切な計画について引き続き関係自治体と検討する。	A	A	今後、地域公共交通網形成計画及び再編実施計画の策定過程において、系統の適切な計画について関係自治体と協働で検討する。		
	広島電鉄(株) さくら(東循環)系統	廿日市市役所前駅～廿日市市役所前駅	系統の適切な計画について引き続き関係自治体と検討する。	A	A	今後、地域公共交通網形成計画及び再編実施計画の策定過程において、系統の適切な計画について関係自治体と協働で検討する。		
	広島電鉄(株) 津田系統	廿日市市役所前駅～津田	系統の適切な計画について引き続き関係自治体と検討する。	A	A	今後、地域公共交通網形成計画及び再編実施計画の策定過程において、系統の適切な計画について関係自治体と協働で検討する。		
	広島電鉄(株) 阿戸系統	熊野営業所～阿戸学校	系統の適切な計画について引き続き関係自治体と検討する。	A	A	今後、地域公共交通網形成計画及び再編実施計画の策定過程において、系統の適切な計画について関係自治体と協働で検討する。		

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
広島県生活交通対策協議会	芸陽バス(株) 瀬野・広島系統	宮の前～海田～広島バスセンター	ここ数年で雇用待遇の見直しを実施しており、乗務員は確保できつつある。但し、現役乗務員の高齢化の問題も直面しており、引き続き乗務員確保を行う。 当路線は広島市都市圏デルタ地域乗り入れ路線であり、共通運賃区間設定に同調している。	A	A	今後の需要推移が全く読めず、対応に苦慮している。	各系統は計画どおり適切に運行されており、評価できる。 雇用待遇の見直しにより乗務員は確保されつつあるようだが、系統を維持していくには、更なる乗務員不足の解消が必要であるため、新型コロナウイルスの影響を踏まえた利用者ニーズの把握や路線再編を含め、各自治体と協議し、利用者の確保と利便向上に努めていただきたい。	
	芸陽バス(株) 東雲系統	宮の前～市役所前～広島バスセンター	雇用待遇の見直しもあり、乗務員は確保できつつある。引き続き乗務員確保を行う。 当路線は広島市都市圏デルタ地域乗り入れ路線であり、共通運賃区間設定に同調している。	A	A	今後の需要推移が全く読めず、対応に苦慮している。		
	芸陽バス(株) 西条・広島系統	西条駅前～瀬野駅～広島バスセンター	雇用待遇の見直しもあり、乗務員は確保できつつある。引き続き乗務員確保を行う。 当路線は広島市都市圏デルタ地域乗り入れ路線であり、共通運賃区間設定に同調している。	A	A	今後の需要推移が全く読めず、対応に苦慮している。		
	芸陽バス(株) 西条・広島系統	八本松～海田～広島バスセンター	雇用待遇の見直しもあり、乗務員は確保できつつある。引き続き乗務員確保を行う。 当路線は広島市都市圏デルタ地域乗り入れ路線であり、共通運賃区間設定に同調している。	A	A	今後の需要推移が全く読めず、対応に苦慮している。		
	芸陽バス(株) 西条・竹原系統	西条駅前～新庄～竹原駅	雇用待遇の見直しもあり、乗務員は確保できつつある。引き続き乗務員確保を行う。 2020年の年始よりコロナウイルス感染症拡大の影響で、観光需要、通勤通学需要ともに大幅に減少し、路線のPR等実践できていない。	A	A	今後の需要推移が全く読めず、対応に苦慮している。		
	芸陽バス(株) 竹原・三原系統	三原営業所～すなみ荘前～中通	雇用待遇の見直しもあり、乗務員は確保できつつある。引き続き乗務員確保を行う。 2020年の年始よりコロナウイルス感染症拡大の影響で、観光需要、通勤通学需要ともに大幅に減少し、路線のPR等実践できていない。	A	A	今後の需要推移が全く読めず、対応に苦慮している。		
	芸陽バス(株) 沼田東系統	三原営業所～沼田東団地上本郷駅・松江～三原営業所	雇用待遇の見直しもあり、乗務員は確保できつつある。引き続き乗務員確保を行う。 2020年の年始よりコロナウイルス感染症拡大の影響で、観光需要、通勤通学需要ともに大幅に減少し、路線のPR等実践できていない。	A	A	今後の需要推移が全く読めず、対応に苦慮している。		

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
広島県生活交通対策 協議会	芸陽バス(株) 白市・空港系統	ネオポリス北～白市駅・河内イン ター～広島空港	2020年の年始よりコロナウイルス感染症拡大 の影響で、航空便が大幅に欠航。利用者数 も減少し、減便した際に告知等を実施した が、利用者数増加のための路線のPR等は実 践できていない。	A	A	今後の需要推移が全く読めず、対応に苦慮して いる。	(再掲) 各系統は計画どおり適切に運行されており、評価 できる。 雇用待遇の見直しにより乗務員は確保されつつ あるようだが、系統を維持していくには、更なる乗 務員不足の解消が必要であるため、新型コロナウ イルスの影響を踏まえた利用者ニーズの把握や 路線再編を含め、各自治体と協議し、利用者の確 保と利便向上に努めていただきたい。	
	芸陽バス(株) 白市・空港系統	ネオポリス北～白市駅・元兼～広島 空港	2020年の年始よりコロナウイルス感染症拡大 の影響で、航空便が大幅に欠航。利用者数 も減少し、減便した際に告知等を実施した が、利用者数増加のための路線のPR等は実 践できていない。	A	A	今後の需要推移が全く読めず、対応に苦慮して いる。		
	芸陽バス(株) 豊栄・西条系統	豊栄～上戸野～西条駅前	豊栄・広島線の廃止を受けて、運行時刻の一部 見直し等を行った。 2020年の年始よりコロナウイルス感染症拡大 の影響で、観光需要、通勤通学需要ともに大 幅に減少し、路線のPR等は実践できていな い。	A	A	今後の需要推移が全く読めず、対応に苦慮して いる。		
	芸陽バス(株) 豊栄・西条系統	豊栄～高美が丘・西高屋駅～西条 駅前	豊栄・広島線の廃止を受けて、運行時刻の一部 見直し等を行った。 2020年の年始よりコロナウイルス感染症拡大 の影響で、観光需要、通勤通学需要ともに大 幅に減少し、路線のPR等は実践できていな い。	A	A	今後の需要推移が全く読めず、対応に苦慮して いる。		
	芸陽バス(株) 白市・空港系統	白市駅～河内インター～広島空港	2020年の年始よりコロナウイルス感染症拡大 の影響で、航空便が大幅に欠航。利用者数 も減少し、減便した際に告知等を実施した が、利用者数増加のための路線のPR等は実 践できていない。	A	A	今後の需要推移が全く読めず、対応に苦慮して いる。		
	芸陽バス(株) 安芸南系統	海田市駅～矢野大浜 ブリック安芸・矢野大浜～海田市駅	雇用待遇の見直しもあり、乗務員は確保でき つつある。引き続き乗務員確保を行う。 2020年の年始よりコロナウイルス感染症拡大 の影響で、通勤需要、通院需要ともに大幅に 減少し、路線のPR等は実践できていない。	A	A	今後の需要推移が全く読めず、対応に苦慮して いる。		

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
広島県生活交通対策協議会	(株)中国バス 福山・市系統	福山駅前～中国中央病院～市出張所	沿線自治体と連携し、利用実態に沿った運行計画の見直しを図りましたが、コロナ禍の影響により経常損失額は16,587千円となった。	A	A	沿線自治体と連携し、実態に沿った運行計画の見直しを図り収支改善に努める	各系統は計画どおり適切に運行されており、評価できる。 引き続き自治体と連携しながら利用実態に沿った生活交通の維持確保に取り組んでいただきたい。 また、関係自治体との協議を進めながら、利便性やサービスの向上に努めることで、地域に信頼される公共交通機関となることを目指して欲しい。	
	(株)中国バス 福山・府中系統	目崎車庫～福山駅前	沿線自治体と連携し、利用実態に沿った運行計画の見直しを図りましたが、コロナ禍の影響により経常損失額は53,140千円となった。	A	A	沿線自治体と連携し、実態に沿った運行計画の見直しを図り収支改善に努める		
	(株)中国バス 尾道・甲山系統	尾道駅前～川上口・新尾道駅～甲山営業所	沿線自治体と連携し、利用実態に沿った運行計画の見直しを図りましたが、コロナ禍の影響により経常損失額は10,677千円となった。	A	A	沿線自治体と連携し、実態に沿った運行計画の見直しを図り収支改善に努める		
	(株)中国バス 尾道・甲山系統	尾道駅前～長江口・バイパス～甲山営業所	沿線自治体と連携し、利用実態に沿った運行計画の見直しを図りましたが、コロナ禍の影響により経常損失額は3,421千円となった。	A	A	沿線自治体と連携し、実態に沿った運行計画の見直しを図り収支改善に努める		
	(株)中国バス 尾道・市系統	尾道駅前～川上口・新尾道駅～市(御調高校前)	沿線自治体と連携し、利用実態に沿った運行計画の見直しを図りましたが、コロナ禍の影響により経常損失額は5,854千円となった。	A	A	沿線自治体と連携し、実態に沿った運行計画の見直しを図り収支改善に努める		
	(株)中国バス 甲山・三原系統	甲山営業所～林崎谷～三原駅前	沿線自治体と連携し、利用実態に沿った運行計画の見直しを図りましたが、コロナ禍の影響により経常損失額は17,003千円となった。	A	A	沿線自治体と連携し、実態に沿った運行計画の見直しを図り収支改善に努める		
	(株)中国バス 三原・広島空港系統	三原駅前～三原桟橋～広島空港	他モード(鉄道・航空)との連絡に着目したダイヤ設定を実施したが、コロナ禍の影響により一時的なダイヤ削減を行ったため、運送収入は10,784千円減収となった。	A	A	沿線自治体と連携し、実態に沿った運行計画の見直しを図り収支改善に努める		
	鞆鉄道(株) 洗谷常石系統	福山駅前～洗谷～常石	令和元年10/1ダイヤ改正	A	B	幹線・支線の検討でダイヤ改正	各系統は計画どおり適切に運行されており、評価できる。 今後は、更なる利用ニーズの把握に努め、幹線・支線の検討を関係自治体等と協議を行いながら、あわせて各ダイヤの見直しを図り、加えて利用促進を図る等の対策についても、検討を行っていただきたい。	
	鞆鉄道(株) 瀬戸千年系統	福山駅前～瀬戸～千年橋	令和元年10/1ダイヤ改正	A	B	幹線・支線の検討でダイヤ改正		
	鞆鉄道(株) 小立千年系統	福山駅前～小立団地～千年橋	令和元年10/1ダイヤ改正	A	B	幹線・支線の検討でダイヤ改正		
	鞆鉄道(株) 瀬戸常石系統	福山駅前～瀬戸～常石	令和元年10/1ダイヤ改正	A	B	幹線・支線の検討でダイヤ改正		
	鞆鉄道(株) 阿伏兔系統	福山駅前～瀬戸～阿伏兔	令和元年10/1ダイヤ改正	A	B	幹線・支線の検討でダイヤ改正		
	鞆鉄道(株) 福山内海系統	福山駅前～瀬戸～内海農協	令和元年10/1ダイヤ改正	A	B	幹線・支線の検討でダイヤ改正		

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
広島県生活交通対策協議会	備北交通(株) 三城線	庄原バスセンター～ジョイフル・上四十貫～三次駅前	○弊社発行のバスマップ(ダイヤ、路線図、運賃を記載)に三城線ノンステップバス対応の旨記載 ○乗り放題バスを春夏計画し、春は緊急事態宣言の影響で、中止したが、夏は計画通りに実施した。	A	A	デジタルサイネージの設置を実施し、利便性の向上を図る。	系統は計画どおり適切に運行されており、評価できる。 今後も利用ニーズを把握し、運行計画の改善に取り組んでもらい、継続的に自治体と協力し路線を維持していただくとともに、デジタルサイネージ導入等により利用者利便の向上にも努めていただきたい。	
	本四バス開発(株) 瀬戸田～因島線	瀬戸田港～内海造船・生口橋～土生港前	ダイヤ改正を行い、因島島内路線バスとの乗継の利便性を高めた。	A	A	瀬戸田に訪れる観光客にバスの利用促進を図る	系統は計画どおり適切に運行されており、評価できる。 今後も利用ニーズを把握し、より利用しやすい運行を継続していただくとともに、観光客にも利用してもらえるよう、他モードとの乗り継ぎも含め、引き続き関係者と協議をいただき利用促進を図られたい。	
	江田島バス(株) 4主系統	小用～大柿支所前～大柿高校前	令和2年1月31日からバスピーを導入したことにより、利用者の利便性が向上するとともに、利用促進に寄与している。今後は、バスピーの利用データ等を分析・活用し、江田島市とも協議しながら、利用実態等に沿ったダイヤの見直しを検討する。	A	A	バスピーの利用データ等を分析・活用し、江田島市とも協議しながら、利用実態等に沿ったダイヤの見直しを検討する。	各系統は計画どおり適切に運行されており、評価できる。	
	江田島バス(株) 14主系統	小用～大君～深江	令和2年1月31日からバスピーを導入したことにより、利用者の利便性が向上するとともに、利用促進に寄与している。今後は、バスピーの利用データ等を分析・活用し、江田島市とも協議しながら、利用実態等に沿ったダイヤの見直しを検討する。	A	A	また、全路線を24時間自由に乗降可能な乗車券(デジタルチケット)を設定し、利用促進を図る。	引き続き、旅客船会社、関係自治体と密に連携し、ICカード利用データも活用し、より利用実態に即したダイヤの見直しを検討していただきたい。	
	さんようバス(株) 1系統	太田―明石港・大串―太田	料金を一律100円としたことで、高齢者の病院通院・買い物等の利用の利用者数が安定してきている。利用しやすい時刻の微調整については、暫く様子を見たい。高齢者のバスの乗り方教室等を高齢者サロンを通じて、バスの安全利用の啓発を継続していきたい。	A	A	一律100円運賃は、コミュニティバスと同額となり、高齢者利用者のバス利用を促進するうえで経済的負担を軽減することにつながっていて利用は増えている。今後運転免許返納者も増えることが見込まれていて、マイカー利用でのガソリン代等を考えても、バス利用の経済的メリットが十分あり、更なる島内住民の生活の足として利用促進を図っていきたい。	各系統は計画どおり適切に運行されており、評価できる。 島内住民の更なる利用促進と利便性向上を図っていただくとともに、他モードとの乗り継ぎは、旅客にとつての利便性を確保する上では必要不可欠であり、引き続き関係者と協議の上、利便性の向上を図るよう努めていただきたい。	
	瀬戸内産交(株) 1系統	営農センター～安芸灘大橋～中国労災病院	運行経路を再編し、バス停を増やし乗降をフリーにした。	A	A	観光案内所・美術館施設等にバスの時刻表を掲示し 観光客の利用の増を図る。	各系統は計画どおり適切に運行されており、評価できる。	
	瀬戸内産交(株) 2系統	沖友天満宮～安芸灘大橋～中国労災病院	運行経路を再編し、バス停を増やし乗降をフリーにした。	A	A		観光客にも利用してもらえるよう、他モードとの乗り継ぎが円滑化を含め、引き続き関係者と協議の上実施されたい。	

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
広島県生活交通対策協議会	中国ジェイアールバス(株) C1	西条～広～呉	令和2年3月14日のJR列車ダイヤ改正にあわせ、利便性の向上を図るため、列車接続を考慮したダイヤ設定をした。関係自治体とも路線維持に向けて現状等の協議を行った。	A	A	新型コロナウイルスの影響があるが、車内の密を回避するためのダイヤ、便数設定を検討し、地域と連携した生活交通の維持を行う。	各系統は計画どおり適切に運行されており、評価できる。 東広島市における地域公共交通再編は実施が遅れていたものの実施へ向けて動いている。引き続き関係自治体等と協議のうえ、利用者利便、利用促進に取り組んでもらいたい。	
	中国ジェイアールバス(株) C2	西条～交叉点～呉	令和2年3月14日のJR列車ダイヤ改正にあわせ、利便性の向上を図るため、列車接続を考慮したダイヤ設定をした。関係自治体とも路線維持に向けて現状等の協議を行った。	A	A			
	中国ジェイアールバス(株) C109	賀茂医療センター口～庚・交叉点～呉	令和2年3月14日のJR列車ダイヤ改正にあわせ、利便性の向上を図るため、列車接続を考慮したダイヤ設定をした。関係自治体とも路線維持に向けて現状等の協議を行った。	A	A			
	中国ジェイアールバス(株) C161	西条～郷田～広島国際大学	令和2年3月14日のJR列車ダイヤ改正にあわせ、利便性の向上を図るため、列車接続を考慮したダイヤ設定をした。関係自治体とも路線維持に向けて現状等の協議を行った。	A	A			
	中国ジェイアールバス(株) C164	西条～庚～広島国際大学	令和2年3月14日のJR列車ダイヤ改正にあわせ、利便性の向上を図るため、列車接続を考慮したダイヤ設定をした。関係自治体とも路線維持に向けて現状等の協議を行った。	A	A			
	(株)井笠バスカンパニー 井原・福山系統	井原～御領～福山	コロナ禍の対策により費用抑制を行いました が、収支率55%を確保できなかった。	A	A	ICカード対応車両を増車し、利用者の利便性向上を図るとともに、井笠・福山バス路線連携協議会と連携して利用促進に取り組む。効率的なダイヤ編成の実施で収支率55%を目指す。	各系統は計画どおり適切に運行されており、評価できる。 新型コロナウイルスの影響により収支率の目標を達成できなかったが、引き続き関係自治体と十分な協議を行い、利用促進へ向けた対策を講じていただきたい。	
	(株)井笠バスカンパニー 篠坂・福山系統	篠坂～青葉台～福山	コロナ禍の対策により費用抑制を行いました が、収支率70%を確保できなかった。	A	A	利用者からの要望及び井笠・福山バス路線連携協議会と連携して利用促進に取り組む。効率的なダイヤ編成の実施で収支率70%を目指す。	またICカードが利用できる車両を今後増やしていくことで利用者利便の増進に取り組んでいただきたい。	

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
広島県生活交通対策協議会	(株)ささき観光 おおのハート(東西)	サンランド車庫～前空駅～広電阿品駅	コロナの影響で、乗客数が減少。 ダイヤ改正後も運行には問題なくできている。	A	A	令和2年3月よりルート・ダイヤ改正実施。	計画どおり適切に運行されており評価できる。 廿日市においては、地域公共交通の再編が実施されているところである。当該計画に基づき、わかりやすいバス路線にする等、利用者にとってより利用しやすいバスの運行とするため、引き続き関係者で協議をしていただくことを期待する。	
	おのみちバス(株) 如水館線	尾道駅前～長江口～如水館前	6月下旬に実態調査を行い、利用状況の確認を行った。	A	B	引き続き実態調査などで利用者のニーズを把握し、利便性の高い運行となるよう努める。	計画どおり適切に運行されており評価できる。 引き続き、市域住民のニーズを的確に把握し、また、観光などの要素も活用しながら、利用促進を進めていくことを期待したい。	
	石見交通(株) 広益線	石見交通本社前～(清流ライン高津川号)～広島新幹線口	新型コロナウイルスの影響によりイベント参加・体験乗車会等実施出来なかった	A	A	新型コロナウイルスの影響により、利用者の減少が続いている。ダイヤ改正等を検討し収支改善に努める	※島根県の記載と同様	

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
広島県生活交通対策 協議会	広島電鉄(株) 湯来	既存 ノンステップバス4両	・引き続き関係自治体と検討する。	A	A	車両減価償却費 国の設定する導入目標に向けノンステップバス の代替を進める。	補助対象系統の運行に必要な車両について、新 型コロナウイルスの影響により一部車両購入を見 合わせたところはあるものの、それを除いては計 画どおりに低床車両を導入しており評価できる。 乗合バス車両のバリアフリー化に関する目標は、 令和2年度までにノンステップバス割合が70%と なっているが、令和3年度からは新たな目標が設 定されており、令和7年度末までにノンステップバ ス割合が80%とされているところである。 現行制度では補助金の活用が困難との声も聞くこ ころではあるが、高齢化の進む中、バスの低床化 による移動円滑化に取り組むことは、公共交通機 関として必要であり、今後もノンステップバスを中 心とした車両の導入に努めて頂きたい。 また、地理的条件及び道路状況によりやむを得ず ワンステップバスを導入せざるを得ない路線やワ ンステップでも困難な状況も少なからず存在して いるが、これらについても地元の道路管理者等にも 要望をするなど関係自治体と協議をしながら極 力低床車両の導入が可能となるよう協議をしてい ただくことも引き続き努力いただきたい。	
	広島電鉄(株) 三段峡	既存 都市間連絡用バス1両	—	A	A			
	広島電鉄(株) 津田	既存 ノンステップバス1両	・引き続き関係自治体と検討する。	A	A			
	広島電鉄(株) 琴谷、今吉田	既存 ノンステップバス2両	・引き続き関係自治体と検討する。	A	A			
	芸陽バス(株) 瀬野・広島、東雲、畑賀、阿戸、安芸 南	新規 ノンステップ4両 既存 ノンステップ1両	道路狭小区間を運行するための車両が必要 な特殊路線等を除き、低床車で運行してい る。 (高速バス車両を除く)	A	C	車両減価償却費 車体のクリアランス等の問題でノンステップバス では運行できない地域もあり、必ずしもノンステッ プバス化を推進することが最善であるとは考えて いない。		
	芸陽バス(株) 西条・広島、空港、白市・空港	新規 ノンステップ1両 既存 ノンステップ7両	通勤ター型車両が必要な特殊路線等を除 き、低床車で運行している。 (高速バス車両を除く)	A	C	車体のクリアランス等の問題でノンステップバス では運行できない地域もあり、必ずしもノンステッ プバス化を推進することが最善であるとは考えて いない。		
	芸陽バス(株) 西条・竹原、竹原・三原、三原・本郷	既存 ノンステップ7両 ワンステップ2両	車両代替を行い、全便を低床車で運行してい る。 (高速バス車両を除く)	A	C	車体のクリアランス等の問題でノンステップバス では運行できない地域もあり、必ずしもノンステッ プバス化を推進することが最善であるとは考えて いない。 (当該エリアでは既に全車低床車で運行している が、大型ノンステップバスでは運行できない箇所 がある。)		
	芸陽バス(株) 西条・豊栄	既存 ノンステップ3両	低床車で運行している。	A	C	車体のクリアランス等の問題でノンステップバス では運行できない地域もあり、必ずしもノンステッ プバス化を推進することが最善であるとは考えて いない。 (当該エリアでは既に全車低床車で運行してい る。)		

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
広島県生活交通対策協議会	(株)中国バス 福山～中国中央病院～市出張所	既存 ノンステップ1両	当該系統の車両更新予定分を他系統分に振り替え、車両更新を見送った。	A	A	車両減価償却費 利用実態に応じた運行回数の設定に伴う車両の減車に合わせて全体的な更新を図る。	補助対象系統の運行に必要な車両について、新型コロナウイルスの影響により一部車両購入を見合わせたところはあるものの、それを除いては計画どおりに低床車両を導入しており評価できる。 乗合バス車両のバリアフリー化に関する目標は、令和2年度までにノンステップバス割合が70%となっているが、令和3年度からは新たな目標が設定されており、令和7年度末までにノンステップバス割合が80%とされているところである。 現行制度では補助金の活用が困難との声も聞くところではあるが、高齢化の進む中、バスの低床化による移動円滑化に取り組むことは、公共交通機関として必要であり、今後もノンステップバスを中心とした車両の導入に努めて頂きたい。 また、地理的条件及び道路状況によりやむを得ずワンステップバスを導入せざるを得ない路線やワンステップでも困難な状況も少なからず存在しているが、これらについても地元の道路管理者等にも要望をするなど関係自治体と協議をしながら極力低床車両の導入が可能となるよう協議をしていただくことも引き続き努力いただきたい。	
	(株)中国バス 福山～目崎車庫	既存 ノンステップ9両	当該系統の車両更新予定分を他系統分に振り替え、車両更新を見送った。	A	A			
	(株)中国バス 甲山～三原	既存 ノンステップ3両	当該系統の車両更新予定分を他系統分に振り替え、車両更新を見送った。	A	A			
	(株)中国バス 三原～広島空港	既存 ノンステップ5両	当該系統の車両更新予定分を他系統分に振り替え、車両更新を見送った。	A	A			
	(株)中国バス 尾道～甲山	既存 ノンステップ1両	当該系統の車両更新予定分を他系統分に振り替え、車両更新を見送った。	A	A			
	鞆鉄道(株) 新川線	既存 ノンステップ10両 ワンステップ4両	不要なバスの廃車1両	C	B	車両減価償却費 必要車両の見直しと平均車齢の年引き下げ		
	備北交通(株) 三城線	既存 ノンステップ6両 新規 0両		A	A	車両減価償却費 当該系統運行車両がノンステップバス導入済であることの広報をおこなう。		
	江田島バス(株) 小用～大柿高校前	既存 ノンステップ1両	令和元年10月にノンステップバス3両を導入し、老朽化したツーステップ車両2両及びワンステップ車両1両を減車したことにより、ノンステップバスの運行率が高まり、利用者の利便性が向上するとともに、利用促進に寄与している。	A	A	車両減価償却費 引き続き、江田島市と連携しながら計画的にノンステップバスを導入し、利用促進を図る。		
	江田島バス(株) 小用～深江	既存 ノンステップ1両	令和元年10月にノンステップバス3両を導入し、老朽化したツーステップ車両2両及びワンステップ車両1両を減車したことにより、ノンステップバスの運行率が高まり、利用者の利便性が向上するとともに、利用促進に寄与している。	A	A			
	中国ジェイアールバス(株) 西条～広～呉 西条～交叉点～呉 賀茂医療センター口～庚・交叉点～呉 西条～郷田～広島国際大学 西条～庚～広島国際大学	新規 ノンステップ2両 既存 ノンステップ7両 ワンステップ2両	引き続き補助制度を活用した低床車両の導入の促進を図りたい。	B	A	車両減価償却費 引き続き、補助制度を活用した低床車両の導入を促進したい。		
	(株)井笠バスカンパニー 井原～福山	既存 ノンステップ1両	2両車両更新を行った。	A	A	車両減価償却費 今後も車両代替を進めていく。		
石見交通(株) 広益線	既存 都市間連絡用	本年度は、導入なし 既存車両については、適切に運用されている	A	A	車両減価償却費 車両の状態に注視しながら、今後も更新計画策定し、安全・安心な運行に努める(次年度は計画なし)			

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
鳥取県生活交通 確保に係る 地域協議会	日ノ丸自動車(株) 中河原系統	鳥取駅～中河原	事業者、県及び市町村が行っている利用促進等の取り組みを継続した。	A	A	○新型コロナ対策を施した公共交通の安全性や公共交通の重要性を重点的に広報することで可能な限りバス利用者の減少を抑制していく。 ○また、ウイズコロナ・アフターコロナ時代の利用者需要の変化を踏まえた地域の事情・ニーズに応じた地域公共交通のあり方を検討していく。	各系統は計画どおり運行されており評価できる。 今年度は、新型コロナウイルスの影響で輸送人員が減少したことにより、目標を達成できていない系統が多くあるが、関係者が連携し、過疎高齢化への対策と平行しながら、公共交通機関の安全性や重要性をPRし、利用者ニーズの把握に努め、利用促進に繋がるよう今後の事業展開にさせていただくとともに、収支率が改善できるよう路線維持に努めていただきたい。	
	日ノ丸自動車(株) 中河原系統	鳥取駅～中河原		A	A			
	日ノ丸自動車(株) 智頭系統	鳥取駅～智頭駅		A	B			
	日ノ丸自動車(株) 用瀬系統	鳥取駅～用瀬		A	A			
	日ノ丸自動車(株) 鹿野系統	鳥取駅～鹿野営業所		A	B			
	日ノ丸自動車(株) 上井・三朝系統	倉吉駅～三朝車庫		A	C			
	日ノ丸自動車(株) 赤碕系統	倉吉駅～赤碕駅		A	C			
	日ノ丸自動車(株) 松江系統	米子駅～松江営業所		A	C			
	日ノ丸自動車(株) 境系統	米子駅～境港駅		A	C			
	日ノ丸自動車(株) 境系統	米子駅～米子鬼太郎空港		A	C			
	日ノ丸自動車(株) 根雨系統	米子駅～日野病院前		A	C			
	日ノ丸自動車(株) 根雨系統	米子駅～谷川		A	C			
	日ノ丸自動車(株) 市町村間循環線	米子駅～イオン東館～米子駅		A	C			
	日ノ丸自動車(株) 法勝寺線	祇園町日ノ丸前～下鴨部 日ノ丸車庫前		A	A			
	日ノ丸自動車(株) 法勝寺線	祇園町日ノ丸前～下鴨部 日ノ丸車庫前		A	A			

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
鳥取県生活交通 確保に係る 地域協議会	日本交通(株) 岩井系統	鳥取駅～蕪島	事業者、県及び市町村が行っている利用促進等の取り組みを継続した。	A	C	○新型コロナ対策を施した公共交通の安全性や公共交通の重要性を重点的に広報することで可能な限りバス利用者の減少を抑制していく。 ○また、ウイズコロナ・アフターコロナ時代の利用者需要の変化を踏まえた地域の事情・ニーズに応じた地域公共交通のあり方を検討していく。	各系統は計画どおり運行されており評価できる。 今年度は、新型コロナウイルスの影響で輸送人員が減少したことにより、目標を達成できていない系統が多くあるが、関係者が連携し、過疎高齢化への対策と平行しながら、公共交通機関の安全性や重要性をPRし、利用者ニーズの把握に努め、利用促進に繋がるよう今後の事業展開にしていだくとともに、収支率が改善できるよう路線維持に努めていただきたい。	
	日本交通(株) 岩井系統	鳥取駅～長谷橋		A	C			
	日本交通(株) 若桜系統	鳥取駅～若桜車庫		A	A			
	日本交通(株) 関金系統	倉吉BC～関金BC		A	B			
	日本交通(株) 関金系統	倉吉BC～明高		A	C			
	日本交通(株) 橋津系統	倉吉BC～石脇車庫		A	A			
	日本交通(株) 橋津系統	倉吉BC～小浜		A	A			
	日本交通(株) 松崎系統	倉吉BC～北方入口		A	B			
	日本交通(株) 北条系統	倉吉BC～由良駅入口		A	C			
	日本交通(株) 市町村間系統	米子駅～イオン東館～米子駅		A	C			

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
鳥取県生活交通 確保に係る 地域協議会	日ノ丸自動車(株) 中河原、智頭、鹿野、上 井/三朝、赤碕、境、根 雨、市町村間循環、法勝 寺	ノンステップバス5台購入	引き続き計画的にバリアフリー対 応の車両へ更新した。	A	A	○目標は長期的なものとして適切であ ると判断。 ○一度に全ての車輛を更新することは できないため、引き続きバリアフリー対 応の車両へ更新していく。	補助対象系統の運行に必要な車両につ いて計画どおりに低床車両を導入してお り評価できる。 乗合バス車両のバリアフリー化に関する 目標は、令和2年度までにノンステップバ ス割合が70%となっているが、令和3年 度からは新たな目標が設定されており、 令和7年度末までにノンステップバス割合 が80%とされているところである。	
	日本交通(株) 岩井、若桜、関金、橋 津、松崎、北条、大山	ノンステップバス5台購入		A	A		現行制度では補助金の活用が困難との 声も聞くとこではあるが、高齢化の進む 中、バスの低床化による移動円滑化に取 り組むことは、公共交通機関として必要で あり、今後もノンステップバスを中心とした 車両の導入に努めて頂きたい。 また、地理的条件及び道路状況によりや むを得ずワンステップバスを導入せざるを 得ない路線やワンステップでも困難な状 況も少なからず存在しているが、これらに についても地元の道路管理者等にも要望を するなど関係自治体と協議をしながら極 力低床車両の導入が可能となるよう協議 をしていただくことも引き続き努力いた だきたい。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
島根県生活交通 確保対策協議会	一畑バス(株) 大東系統	一畑バス本社～大東駅	バスカード利用(とっでもお得バス 事業)・定期券利用(夏休み応援事 業)の促進を図り、運送収入の増 加に努めた。	A	B	引き続き使用済みバスカードを利用し た利用促進(とっでもお得バス利用事 業)に努める。又、定期券利用の促進 を図る。 定期的に時刻表等バスの情報を提供 するとともに、バスの乗り方教室を開催 するなど地元自治体との連携を図って いく。 バス位置情報の提供により利便性の 向上を図る(令和2年3月実施予定)。	各系統は計画どおり適切に運行されてお り、評価できる。 人口が減少する中で、輸送量の減少傾向 を緩和するという目標は達成できなかった が、夏休み応援事業の実施やバス位置 情報システムの運用を開始する等利用促 進や利便性向上に努めている。また、今 後ICカードの導入も予定しており、様々 な方法で利用促進及び利便性向上に努め ている点は評価できる。 引き続き、関係者と協議し路線維持に努 めていただくとともに、これまで実施して きた利用促進策の効果を把握し、より効果 的な策を講じていただくことを期待した い。	
	一畑バス(株) 恵雲系統	一畑バス本社～恵曇	バス位置情報システム「バスナビ」 の運用を開始(令和2年3月～)」 し、利用者利便性の向上に努め た。	A	B			
	一畑バス(株) マリンプラザ系統	一畑バス本社～マリンプラ ザ前	松江・出雲周遊アプリチケット 「TRANSPORTPASS」の発売し、外 国人旅行者のバス利用促進に努 めた。 (令和元年12月～令和2年3月)	A	B			
	一畑バス(株) 御津系統	一畑バス本社～御津	観光客の取り込みとして、イベント 等の多客時における出雲市駅で の切符発売・乗客案内及び続行便 の運行を行い、増客への対応に努 めた。	A	B			
	一畑バス(株) 玉造系統	松江しんじ湖温泉～玉造温 泉	バス位置情報システム「バスナビ」 の運用を開始(令和2年3月)」し、 利用者利便性の向上に努めた。	A	B			
	一畑バス(株) 須佐系統	上塩冶車庫～出雲須佐	松江・出雲周遊アプリチケット 「TRANSPORTPASS」の発売し、外 国人旅行者のバス利用促進に努 めた。 (令和元年12月～令和2年3月)	A	B			
	一畑バス(株) 大社系統	上塩冶車庫～大社連絡所		A	B			
	一畑バス(株) 大社系統	上塩冶車庫～大社連絡所 (北回り)		A	B			
	一畑バス(株) 大社系統	出雲市駅～大社連絡所(イ オン経由)		A	B			

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
島根県生活交通 確保対策協議会	石見交通(株) 小浜江崎系統	医光寺前～江崎港(須佐駅前)	体験乗車会、免許返納割引制度のPR等による利用促進に努める計画であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により実施出来なかった。	A	A	引き続きお客様ニーズを把握し、ダイヤ改正等に努め利用促進を行う。 イベント等に参加しPR活動が続ける。	各系統は計画どおり適切に運行されており、評価できる。 利用者が減少する中で、輸送量の減少傾向を緩和するという目標を達成することができなかった系統もあったが、新型コロナウイルスの影響で今年度は実施できなかった体験乗車会やイベント参加により利用促進を行っていただき、引き続き利用者ニーズを把握し、系統の見直しなどの輸送効率化を行うことにより、今後の利用者増加に期待したい。	
	石見交通(株) 津和野系統	医光寺前～津和野温泉		A	B			
	石見交通(株) 匹見系統	医光寺前～匹見上		A	B			
	石見交通(株) 都茂系統	益田駅前～二川		A	B			
	石見交通(株) 浜田益田系統	石見交通本社前～浜田駅前		A	A			
	石見交通(株) 弥栄系統	浜田駅前～弥栄支所		A	B			
	石見交通(株) 有福系統	周布～江津駅前 (有福温泉・済生会病院)		A	B			
	石見交通(株) 周布江津系統	周布～江津駅前 (西波子・済生会病院)		A	B			
	石見交通(株) 大田江津系統	大田市立病院前～済生会病院		A	B			
	石見交通(株) 江津川本系統	済生会病院(江津高校前)～石見川本		A	A			
	石見交通(株) 広益系統	石見交通本社前～広島新幹線口(清流ライン 高津川号)		B	B			
	日ノ丸自動車(株) 松江系統	米子駅～松江営業所	・令和2年4月よりバス路線に路線番号を設定し、交通結節点における路線バスのわかりやすさ、使いやすさの向上を図るとともに、米子駅前のバスターミナルにおいて路線番号を活用した案内表示を設置し、旅客の移動利便性、満足度の向上に努めた。 ・令和元年10月に松江市一斉ノーマイカーウィークにあわせたバスまつり期間中に小学生以下のバス運賃を無料としてバス利用の促進を図った。	A	B	令和2年9月30日 路線廃止	—	

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
島根県生活交通 確保対策協議会	一畑バス(株) 大東線 御津線 玉造線	車両減価償却費 ノンステップバス 3両	計画どおりノンステップバス3両の 導入を実施した。	A	A	引き続き計画に沿ってノンステップバス の導入を進める。	補助対象系統の運行に必要な車両につ いて計画どおりに低床車両を導入してお り評価できる。 乗合バス車両のバリアフリー化に関する 目標は、令和2年度までにノンステップバ ス割合が70%となっているが、令和3年 度からは新たな目標が設定されており、 令和7年度末までにノンステップバス割合 が80%とされているところである。	
	石見交通(株) 都茂線 浜田益田線 有福線・周布江津線・江 津川本線	車両減価償却費 ノンステップバス 3両	計画どおりノンステップバス3両の 導入を実施した。	A	A	引き続き計画に沿ってノンステップバス の導入を進める。	現行制度では補助金の活用が困難との 声も聞くところではあるが、高齢化の進む 中、バスの低床化による移動円滑化に取り 組むことは、公共交通機関として必要で あり、今後もノンステップバスを中心とした 車両の導入に努めて頂きたい。 また、地理的条件及び道路状況によりや むを得ずワンステップバスを導入せざるを 得ない路線やワンステップでも困難な状 況も少なからず存在しているが、これらに についても地元の道路管理者等にも要望を するなど関係自治体と協議をしながら極 力低床車両の導入が可能となるよう協議 をしていただくことも引き続き努力いただ きたい。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
岡山県生活交通 対策地域協議会	(株)井笠バスカンパニー 笠岡～矢掛系統	笠岡～矢掛	他モードとの乗継を確保するとともに、運行実態を反映した時分設定に見直し、定時制を確保することにより、利便性を高める。効率的なダイヤ編成の実施	A	C	他モードとの乗継を確保するとともに、運行実態を反映した時分設定に見直し、定時制を確保することにより、利便性を高める。効率的なダイヤ編成の実施	各系統は計画どおり適切に運行されており、評価できる。 輸送人員の減少により、目標値には達していないが、ICカード対応車両の増車や他モードとの乗継やダイヤ設定など利便性の向上に努め、引き続き利用者ニーズの把握に努め、関係協議会とも連携し、利用促進に取り組んでいただきたい。	
	(株)井笠バスカンパニー 井原～福山系統	井原～福山	ICカード対応車両を増車し、利用者の利便性向上を図るとともに、井笠・福山バス路線連携協議会と連携して利用促進に取り組む。効率的なダイヤ編成の実施	A	C	ICカード対応車両を増車し、利用者の利便性向上を図るとともに、井笠・福山バス路線連携協議会と連携して利用促進に取り組む。効率的なダイヤ編成の実施		
	(株)井笠バスカンパニー 井原～笠岡系統	井原～笠岡	他モードとの乗継を確保し、井笠・福山バス路線連携協議会と連携して利用促進に取り組む。効率的なダイヤ編成の実施	A	B	他モードとの乗継を確保し、井笠・福山バス路線連携協議会と連携して利用促進に取り組む。効率的なダイヤ編成の実施		
	(株)井笠バスカンパニー 篠坂～福山系統	篠坂～福山	利用者からの要望及び井笠・福山バス路線連携協議会と連携して利用促進に取り組む。効率的なダイヤ編成の実施	A	C	利用者からの要望及び井笠・福山バス路線連携協議会と連携して利用促進に取り組む。効率的なダイヤ編成の実施		
	下津井電鉄(株) A-2岡山線系統	天満屋～JR児島駅	バスロケータを活用した適正な運行ダイヤの見直しを令和元年10月に実施した。	A	C	当該沿線住宅地や公共施設・病院への時刻表ポスティングの実施とHPへの沿線観光案内の実施を計画し次年度収支率を60.0%を目標とする。	各系統は計画どおり適切に運行されており、評価できる。 輸送人員の減少により、目標値には達していないが、バスロケータを活用した運行の最適化を継続して図っていることやパンレット車載による観光利用促進に努めている点は評価できる。 今後も引き続き、関係自治体と協力しながら地域交通の確保に努めるとともに、改善点にもある時刻表のポスティングなどを通じて利用促進を講じていただきたい。	
	下津井電鉄(株) D-19茶屋町系統	倉敷駅～下電興除車庫	バスロケータを活用した適正な運行ダイヤの見直しを令和元年10月に実施した。	A	B	当該沿線住宅地や公共施設・病院への時刻表ポスティングの実施とHPへの沿線観光案内の実施を計画し次年度収支率を66.0%を目標とする。		
	下津井電鉄(株) S-5瀬戸大橋線系統	JR児島駅～与島第2駐車場	エコドライブの積極的な実施と観光素材のイベント告知のパンフレット車載を実施し、観光利用の促進に努めた。	A	C	令和3年4月路線廃止とする。		

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
岡山県生活交通 対策地域協議会	中鉄バス(株) 40佐山リハビリ系統	天満屋BC～リハビリセン ター前	関係自治体と連携し、路線沿線施 設を活用した利用促進に取り組む 予定であったが、コロナ禍の影響 により実施には至らなかった。	A	C	関係自治体と連携して沿線施設のニ ーズの把握に努め、ダイヤ改正を実施す る。	計画どおり適切に運行されており、評価で きる。 輸送人員減少により、目標値には達してい ないが、今年度新型コロナウイルスの影響 により実施できなかった自治体と連携した 利用促進策の実施を検討いただくととも に、引き続きニーズの把握やダイヤ改正に よる運行の適正化など、利用者の利便性 を向上させ、利用促進に取り組んでいただ きたい。	
	中鉄北部バス(株) 58・60・85系統	津山～行方	奈義町営さと丸デマンド交通との 乗り継ぎ特典をPRして利用促進を 図った。奈義町現代美術館入場券 とのセット乗車券の設定はコロナ 禍の影響により実施出来なかつ た。	A	C	当路線専用のポケット時刻表を作成し て沿線施設、自衛隊関係者及び進学 予定の中学3年生に配布する等、PR 活動を実施し、利用促進を図る。	各系統は計画どおり適切に運行されてお り、評価できる。 輸送人員の減少により、目標値には達して いないが、コミュニティバスとの乗り継ぎ特 典のPR等利用促進を図っている点は評価 できる。	
	中鉄北部バス(株) 145(高)勝山系統	岡山～勝山	真庭市が作成した公共交通マップ 及び時刻表をバス車内に備付け、 コミュニティバスとの乗り継ぎの利 便性をPRした。	A	C	引き続き真庭市が作成した公共交通 マップ及び時刻表をバス車内に備付 け、コミュニティバスとの乗り継ぎの利 便性をPRする等し、利用促進に努め ていく。	引き続き、乗り継ぎの改善等による利便性 の向上に努めてもらい、関係自治体と協力 しながら地域交通の確保に努めると共に、 PR活動を通じて利用促進を図っていただ きたい。	

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
岡山県生活交通 対策地域協議会	備北バス(株) 皆部系統	高梁駅～塩坪～皆部	関係自治体と連携し、高校生を中心とした利用促進を行った。	A	C	当該路線の利用者の多くは、高校生及び中学生の通学利用であり、少子高齢化による利用者の減少傾向が進むなか、高梁市・真庭市と連携し利用促進に取り組み収支率56%台を目指していきたい。	各系統は計画どおり適切に運行されており、評価できる。 輸送人員の減少により、目標値には達していないが、通学や通院、県内中心地との接続等、重要な目的を持つ路線を維持していく中で、中山間地の少子高齢化に対応していくため、今後とも関係自治体との連携を密にし、利用促進策について協議を行っていただきたい。	
	備北バス(株) 吉川系統	高梁駅～リハビリセンター～吉川	昨年度に引き続き高校生の通学補助を中心とした利用促進を行った。	A	C	当該路線の利用者の多くは、高校生の通学利用であり、少子高齢化による利用者の減少傾向が進むなか、高梁市・吉備中央町と連携し利用促進に取り組み収支率52%台を目指していきたい。		
	備北バス(株) 岡山系統	地頭～古町～岡山	昨年度に引き続き往復利用割引運賃制度及び愛カードの広報を行い利用促進を行った。	A	C	当該路線は高梁市より岡山市への通院及び買い物を中心とした路線であり、今後も高梁市・総社市及び岡山市と連携し利用促進に取り組み収支率48%台をめざしていきたい。		
	備北バス(株) 地頭系統	地頭～古町～高梁駅	昨年度に引き続き高校生の通学補助及び愛カードの広報を中心とした利用促進を行った。	A	C	当該路線の利用者は、高校生の通学と病院への通院及び買い物への利用が多く、今後も高梁市と連携し利用促進に取り組み収支率46%台を目指していきたい。		

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
岡山県生活交通 対策地域協議会	両備ホールディングス (株) 74牛窓北線系統	西大寺～邑久駅～牛窓	・両備バス1Dayフリー乗車券を継続して販売(牛窓エリアをモデルコースとしてチラシに掲載) ・夏休み前にサマーキッズバスのチラシを、瀬戸内市の協力を得て沿線小・中学校に配布	A	B	お客様の需要に応じ、邑久～牛窓間の輸送に注力するべく運行形態の見直しを含め検討する。	各系統は計画どおり適切に運行されており、評価できる。 輸送人員の減少により、目標値には達していないが、今後、利用者を更に増加させていくには、継続して実施している企画乗車券やフリー乗車券など利用促進策の検証も必要と考える。 また、乗合タクシー、コミュニティバスと更なる連携を図り利便性を向上させていく必要もあることから、関係者との引き続き協議頂き、幹線系統としての役割を果たしていただきたい。	
	両備ホールディングス (株) 76牛窓南線系統	西大寺～西大寺駅・神崎～牛窓	・両備バス1Dayフリー乗車券を継続して販売(牛窓エリアをモデルコースとしてチラシに掲載) ・夏休み前にサマーキッズバスのチラシを、瀬戸内市の協力を得て沿線小・中学校に配布	A	C	瀬戸内市営バスとの接続による利便性向上策を検討し、通院や買い物利用の維持、増加と一層の収支改善に努める。		
	両備ホールディングス (株) 212銚立線系統	岡山駅前～銚立	・両備バス1Dayフリー乗車券を継続して販売 ・夏休み前にサマーキッズバスのチラシを、玉野市の協力を得て市内全小・中学校に配布	A	B	岡山市内での停留所増設による利便性向上を図る。		
	両備ホールディングス (株) 218上山坂線系統	岡山駅前～宇野駅前	・両備バス1Dayフリー乗車券を継続して販売 ・夏休み前にサマーキッズバスのチラシを、玉野市の協力を得て市内全小・中学校に配布	A	A	岡山市内での停留所増設による利便性向上、玉野市内におけるシーバスとのダイヤ・運賃共通化による利用者増加に努める。		

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
岡山県生活交通 対策地域協議会	中鉄北部バス(株) 岡山～勝山線	車両減価償却費 都市間連絡用バス1両導 入 平成30年度1両	本年度は車両代替を実施しなかつた。	A	A	今後も計画的に車両代替を進めていく。	補助対象系統の運行に必要な車両について計画どおりに低床車両を導入しており評価できる。 乗合バス車両のバリアフリー化に関する目標は、令和2年度までにノンステップバス割合が70%となっているが、令和3年度からは新たな目標が設定されており、令和7年度末までにノンステップバス割合が80%とされているところである。 現行制度では補助金の活用が困難との声も聞くところではあるが、高齢化の進む中、バスの低床化による移動円滑化に取り組むことは、公共交通機関として必要であり、今後もノンステップバスを中心とした車両の導入に努めて頂きたい。	
	(株)井笠バスカンパニー 笠岡～矢掛系統 井原～福山系統 井原～笠岡系統 新倉敷～寄島系統 篠坂～福山系統	車両減価償却費 ノンステップバス等10両 継続、2両新規導入	計画通り車両の代替を進めた。	A	A	今後も計画的に車両代替を進めていく。	また、地理的条件及び道路状況によりやむを得ずワンステップバスを導入せざるを得ない路線やワンステップでも困難な状況も少なからず存在しているが、これらについても地元の道路管理者等にも要望をするなど関係自治体と協議をしながら極力低床車両の導入が可能となるよう協議をしていただくことも引き続き努力していきたい。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
山口県生活交通 確保維持改善 協議会	防長交通(株) 柳井駅前～快)～徳山駅 前系統	柳井駅前～快)～徳山駅 前	R2.3.14に列車との接続便について ダイヤ改正を実施した。 関係自治体と連携して利用しやすい ダイヤ改正を実施した。 小児運賃一律50円キャンペーン 等、バス利用促進に取り組み生活 交通路線の維持を図った。 利用者の利便性を向上させるた め、バスロケーションシステム活用 について周知を図った。	A	A	引き続き、バス利用促進につながるよ う、ダイヤ改正等を行い、関係市町と連 携して利用しやすいバスを目指してい く。 また、各イベントへの参加、バス乗り方 教室の開催、学生フリー乗車券等PRに 努めていく。 バスロケーションシステムを幅広く周知 し、新規利用者の獲得に努める。	各系統は計画どおり適切に運行されてお り、評価できる。 関連自治体と連携をしたダイヤ改正や小 児運賃一律50円キャンペーン等バス利用 者の増加につながる取組みを行っている。 今後も引き続き、バス乗り方教室、イベント への参加、ノーマイカーデーに公共交通利 用を促すなどの取組を実施していただき、 利用促進を図ることを期待する。 一方で、数値目標が達成されていない系 統も見受けられ、これまで実施してきた利 用促進策の分析等を行い、今後はより効 果的な利用促進策を講じていただきたい。	
	防長交通(株) 防府駅前～新南陽駅～ 徳山駅前系統	防府駅前～新南陽駅～徳 山駅前		A	B			
	防長交通(株) 柳井駅前～イオン・平生 ～上関系統	柳井駅前～イオン・平生 ～上関		A	B			
	防長交通(株) 大島駅～周防久賀～町立 橋医院前系統	大島駅～周防久賀～町立 橋医院前		A	B			
	防長交通(株) 大島駅～大島商船・大島 庁舎前・沖浦～町立橋医 院前系統	大島駅～大島商船・大島 庁舎前・沖浦～町立橋医 院前		A	B			
	防長交通(株) 徳山駅前～バイパス・記 念病院・夢ヶ丘団地～ゆ めプラザ熊毛系統	徳山駅前～バイパス・記 念病院・夢ヶ丘団地～ゆ めプラザ熊毛		A	B			
	防長交通(株) 徳山駅前～新南陽駅・夢 求の里～コアブラザかの 系統	徳山駅前～新南陽駅・夢 求の里～コアブラザかの 系統		A	B			
	防長交通(株) 徳山駅前～新南陽駅・ソ レーネ・湯野～柚木河内 系統	徳山駅前～新南陽駅・ソ レーネ・湯野～柚木河内 系統		A	A			
	防長交通(株) 堀～中山～防府駅前系 統	堀～中山～防府駅前		A	C			
	防長交通(株) 堀～和字～防府駅前系 統	堀～和字～防府駅前		A	B			
	防長交通(株) 県庁前～西京橋・新山口 駅・長浜～秋穂荘系統	県庁前～西京橋・新山口 駅・長浜～秋穂荘		A	B			
	防長交通(株) 県庁前～西京橋・リハビ リ・権現堂橋・山手～新山 口駅系統	県庁前～西京橋・リハビ リ・権現堂橋・山手～新山 口駅		A	B			
	防長交通(株) 新山口駅～大田～東萩 駅前系統	新山口駅～大田～東萩 駅前		A	B			
	防長交通(株) 新山口駅～十文字～秋 芳洞系統	新山口駅～十文字～秋 芳洞		A	C			
	防長交通(株) 萩商工高校前～萩セン ター・東萩駅・越ヶ浜～奈 古駅前系統	萩商工高校前～萩セン ター・東萩駅・越ヶ浜～奈 古駅前		A	B			

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
山口県生活交通 確保維持改善 協議会	サンデン交通(株) 北浦線	下関駅～唐戸～川棚温泉	新型コロナウイルス感染拡大により 甚大な影響を受けており、大幅な減 収を余儀なくされました。 各種イベント中止、クルーズ船入港 中止、学校関係の行事中止などあ り、貸切バスにおいてはほぼ収入 がない状況となりました。 R01.10.1にダイヤ改正を実施、運行 系統の整理、特に国庫補助系統 「彦島営業所～小月駅～宇部中 央」の廃止、運番削減等を行い効 率的な運行に努めた。 R01.10.24よりGTFSへ参加、利便 性の向上に努める。デジタルサイ ネージ拡大の検討。 また、引き続き、新入生お試し券(1 00円券)の配布による新入生のバ ス利用促進を図った。 その他、小児運賃一律50円キャン ペーン、高齢者向け乗り放題バス への免許返納者向け割引の設定、 新入小学生や敬老会へのバス乗り 方教室の実施、「長門市内1日フ リーバス」(スマートフォン決済)の 導入、など利用者に便利な割引切 符の販売等により、バス利用促進 をPRした。	A	B	令和3年3月よりICカードによるキャ ッシュレス決済の導入予定。利便性の拡 大に努める。 引き続きバス利用促進につながるよう、 標準的なバス情報フォーマットによる データ提供を進めていく。 また、関係市と連携してより利用しやす いバス路線を目指すと共に、新入生お 試し券(100円券)の配布による学生需 要拡大や、バス乗り方教室の開催、ス マートフォン決済によるお得な割引切符 の販売により、利用者の拡大に力を入 れていく。	各系統は計画どおり適切に運行されてお り、評価できる。 輸送人員が減少し、目標値に達していない 系統もあるが、学生利用への対策や乗り 方教室の実施により利用促進を図ってき ていることに加え、利用者にお得な割引切符 の販売により利用促進を図っており、更に GTFSへの参加により利便性の向上にも 努めている。また、今年3月にはICカードも 導入し、様々な方法で利用促進及び利便 性向上に努めている点は評価できる。 今後とも引き続き、バス利用促進の方策を 実施し、あわせてその効果を検証し、再編 実施による関係市町と連携してより利用し やすいバス路線として維持していただくこと を期待したい。	
	サンデン交通(株) 北浦線	下関駅～豊洋台3丁目～ 川棚温泉		A	B			
	サンデン交通(株) 国道線	下関駅～小月局前～フジ グラン宇部		A	C			
	サンデン交通(株) 国道線	下関駅～小月駅～宇部中 央		A	B			
	サンデン交通(株) 国道線	下関駅～小月駅～小野田 駅		A	C			
	サンデン交通(株) 仙崎線・準	下関駅～小月駅～大泊		A	B			
	サンデン交通(株) 下関・豊田線	下関駅～下大野～豊田町 西市		A	B			
	サンデン交通(株) 美祢線	下関駅～小月駅～美祢駅		A	C			
	サンデン交通(株) 美祢線	下関駅～ゆめ・小月駅～ 美祢駅		A	C			

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
山口県生活交通 確保維持改善 協議会	船木鉄道(株) 本山線	船木～本山岬 船木～サンパーク～本山岬 船木～労災病院～本山岬 船木～労災病院～サン パーク～船木	R1.10.1にダイヤ改正を実施し電車 との接続の利便性をよくし、効率的 な運行に努めた。 その他時刻冊子の配布、グーグル マップへの時刻表掲載を行い利便 性の向上に努めた。	A	B	引き続き、バス利用促進につながるよう 時刻表の改善を行う。 また昨今のコロナ禍でも安心安全に利 用できるように車内消毒等感染防止対 策を実施しバスのPRに努める。	各系統は計画どおり適切に運行されてお り、評価できる。 輸送人員の減少により、目標値に達してい ない系統もあるが、グーグルマップへの時 刻表掲載利便性の向上を図っており、今後 とも引き続き、補助系統以外も含め、関係 市町村とも協議しながら、コミュニティ交通 との連携を図りつつ、利便性の向上や利 用促進に繋がる施策や路線維持の方策を 検討していただくことを期待したい。	
	船木鉄道(株) 宇部線	船木～宇部市役所		A	B			
	船木鉄道(株) 厚狭線	厚狭駅～宇部中央 厚狭駅～サンパーク～宇 部中央 厚狭駅～労災病院～宇部 中央 厚狭駅～労災病院～サン パーク～宇部中央		A	B			
	船木鉄道(株) 美祢線	美祢市立病院～秋吉～美 東病院～大田中央 美祢駅～秋吉～美東病院 ～大田中央 美祢駅～秋吉～大田中央		A	B			
	船木鉄道(株) 美祢線	美祢駅～秋吉 美祢駅～秋吉～秋芳洞	グーグルマップへの時刻表掲載を 行い利便性の向上に努めた。	A	B			
	石見交通㈱ 小浜江崎線	医光寺～日赤・温泉～江 崎港(須佐駅前)	体験乗車会等による利用促進	B	A	引き続き、利用促進につながるようPR に努めたい。	※島根県の記載と同様	
	石見交通㈱ 広益線(統合後)	石見交通本社前～(清流 ライン高津川号)～広島新 幹線口	観光需要等利用促進に向けPRに 努める	B	B	引き続き、利用促進につながるようPR に努めたい。	※島根県の記載と同様	
	宇部市交通局 新山口線(特急)	宇部新川駅～山口宇部道 路～新山口駅	路線維持のため、バス停車表の停 留所掲示や時刻冊子の配布など、 PRに取り組んだ。 また、バスオリエンテーリングや乗 り方教室を実施し、生活交通路線 の維持に取り組んだ。 また、バスロケーションシステムの サイネージを増設し、新規利用者の 獲得に努めた。	A	B	引き続き、バス利用促進につながるよ う、時刻表の改善や各種イベントへの参 加、乗り方教室の実施等により、PRに 努める。 また、導入したバスロケーションシス テムのサイネージを増設することにより、 新規利用者の獲得に努める。	各系統は計画どおり適切に運行されてお り、評価できる。 輸送人員の減少により、目標値に達してい ない系統もあるが、バスロケーションシス テムのサイネージ増設による利便性の向 上、乗り方教室などによる利用促進のほ か、PRにも努めていることは評価できる。 引き続き、これらの取組を実施してもらい、 新規需要開拓を目的とした取り組みも継続 していただきたい。	
	宇部市交通局 新山口線(普通)	宇部新川駅～サンパーク あじす・東岐波商業団地 前～新山口駅新幹線口		A	B			
	宇部市交通局 阿知須線	宇部新川駅～今村～サン パークあじす		A	B			
	宇部市交通局 阿知須線	宇部新川駅～今村・ミ スターマックス宇部店～サン パークあじす		A	B			
	宇部市交通局 小野田線	小野田営業所～大学病院 前～常盤町二丁目		A	B			
	宇部市交通局 西ヶ丘日赤線	西ヶ丘～ゆめタウン宇部 ～日赤前		A	A			

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
山口県生活交通 確保維持改善 協議会	中国ジェイアールバス (株) D-77系統	防府～ゆめタウン山口・県 庁・湯田温泉通～中尾口	R2.3.14のダイヤ改正で、列車、バス との接続を考慮したダイヤ編成を 行った。 ダイヤ改正時に補助を受けている ことを表記した時刻表を、山口市報 配布時に折り込みを行い、沿線の 地域住民に配布し、周知を行った。	A	A	引き続き、乗り継ぎ利便の向上、適正な 所要時分となるよう、ダイヤ改正を実施 する。また、山口市報へ補助路線が含 まれているという一文を記載した時刻表 を折り込むなど、地域住民への路線周 知を図るとともに、バス乗り方教室やイ ベントへの参加を通じて地域と連携し、 生活交通路線の維持を行う。R3.3に全 国で相互利用が可能な交通系ICカード システムを導入し、利用者の利便性向 上を図る。	各系統は計画どおり適切に運行されてお り、評価できる。 輸送人員の減少により、目標値に達してい ない系統もあるが、バス乗り方教室の実施 や山口市報へ補助路線が含まれていると 一文を記載した時刻表を折り込むなど、利 用者に積極的な公共交通の利用を促す意 識の啓発を行っている。また、本年3月に はICカード導入により、様々な方法で利用 促進及び利便性向上に努めている点は評 価できる。 今後とも、自治体と連携しながら各種イ ベントを検討・協議して利用促進を図るとも にあわせてこれまで実施してきた施策の 効果も把握し、より効果的な策を講ずるこ とができるよう期待したい。	
	中国ジェイアールバス (株) D-79系統	秋吉～洞・バイパス・大田 中央・県庁～山口	新型コロナウイルスの影響により、 やまぐちバス博などのイベントが中 止になったが、各自治体などの依 頼によるバス乗り方教室の実施な ど、地域と協力した取り組みを行 い、また、関係自治体の協力により バスロケーションシステムについて 広報していただいたことで、生活交 通路線の維持を図った。	A	C			
	中国ジェイアールバス (株) D-109系統	防府～ゆめタウン山口・県 庁・湯田温泉通～山口大 学		A	B			
	中国ジェイアールバス (株) D-128系統	湯田温泉駅～山口・県庁・ 野田・明倫センター～東萩	R1.10より「道の駅あさひ」乗り入れ を実施し、利便性向上を図った。 R2.3.14のダイヤ改正で、列車、バス との接続を考慮したダイヤ編成を 行った。 ダイヤ改正時に補助を受けている ことを表記した時刻表を、山口市報 配布時に折り込みを行い、沿線の 地域住民に配布し、周知を行った。 新型コロナウイルスの影響により、 やまぐちバス博などのイベントが中 止になったが、各自治体などの依 頼によるバス乗り方教室の実施な ど、地域と協力した取り組みを行 い、また、関係自治体の協力により バスロケーションシステムについて 広報していただいたことで、生活交 通路線の維持を図った。	A	A	引き続き、乗り継ぎ利便の向上、適正な 所要時分となるよう、ダイヤ改正を実施 する。また、山口市報へ補助路線が含 まれているという一文を記載した時刻表 を折り込むなど、地域住民への路線周 知を図るとともに、バス乗り方教室やイ ベントへの参加を通じて地域と連携し、 生活交通路線の維持を行う。R3.3に全 国で相互利用が可能な交通系ICカード システムを導入し、利用者の利便性向 上を図る。		

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
山口県生活交通 確保維持改善 協議会	防長交通(株) 徳山駅前～快)～柳井駅 前 徳山駅前～新南陽駅～ 防府駅前 柳井駅前～イオン・平生 ～上関 大島駅～周防久賀～町 立橋病院前 大島駅～大島商船・大島 庁舎前・沖浦～町立橋病 院前 徳山駅前～バイパス・記 念病院・夢ヶ丘団地～ゆ めブラザ熊毛 徳山駅前～新南陽駅・夢 求の里～コアブラザかの 徳山駅前～新南陽駅・ソ レーネ・湯野～柚木河内 堀～中山～防府駅前 堀～和字～防府駅前 県庁前～西京橋・新山口 駅・長浜～秋穂荘 県庁前～西京橋・リハビ リ・権現堂橋・山手～新山 口駅 新山口駅～大田～東萩 駅前 新山口駅～十文字～秋 芳洞 萩商工高校前～萩セン ター・東萩駅・越ヶ浜～奈 古駅前	車両減価償却費 ノンステップバス 30両導 入 平成27年度導入分＝3両 平成28年度導入分＝6両 平成29年度導入分＝6両 平成30年度導入分＝6両 令和元年度導入分＝4両 令和2年度導入分＝5両	計画通り低床車両の導入が図れる よう努めた。	A	A	令和4年9月末までに66%以上という 目標に向けて、今後も計画通り車両代 替を進めていく。	補助対象系統の運行に必要な車両につい て計画どおりに低床車両を導入しており評 価できる。 乗合バス車両のバリアフリー化に関する現 行目標は令和2年度までにノンステップバ ス割合が70%となっており、現行制度では 補助金の活用が困難との声も聞くところ ではあるが、高齢化の進む中、バスの低床 化による移動円滑化に取り組むことは、公 共交通機関として必要であり、今後もノ ンステップバスを中心とした車両の導入に努 めて頂きたい。 また、地理的条件及び道路状況によりや むを得ずワンステップバスを導入せざるを 得ない路線やワンステップでも困難な状況 も少なからず存在しているが、これらにつ いても地元の道路管理者等にも要望をす るなど関係自治体と協議をしながら極力低 床車両の導入が可能となるよう協議をして いただくことも引き続き努力いただきたい。	

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
山口県生活交通 確保維持改善 協議会	サンデン交通(株) 国道線、西市線 美祢線、北浦線 仙崎線	車両減価償却費 ノンステップバス 10両導 入 平成28年度導入分＝2両 平成29年度導入分＝2両 平成30年度導入分＝2 両、都市間高速1両 平成31年度導入分＝2両 令和02年度導入分＝2両	計画通り低床車両の導入が図れる よう努めた。	A	A	今後も引き続き、計画どおりノンステッ プバスの導入を進めていく。	補助対象系統の運行に必要な車両につい て計画どおりに低床車両を導入しており評 価できる。 乗合バス車両のバリアフリー化に関する目 標は、令和2年度までにノンステップバス 割合が70%となっているが、本年4月から は新たな目標が設定されており、令和7年 度末までにノンステップバス割合が80%と されているところである。 現行制度では補助金の活用が困難との声 も聞くところではあるが、高齢化の進む中、 バスの低床化による移動円滑化に取り組 むことは、公共交通機関として必要であり、 今後もノンステップバスを中心とした車両 の導入に努めて頂きたい。	
	船木鉄道(株) 本山線 宇部線 厚狭線	車両減価償却費 ノンステップバス5両導入 平成28年度導入分＝1両 平成29年度導入分＝1両 平成30年度導入分＝1両 令和元年度導入分＝1両 令和2年度導入分＝1両	計画通り低床車両の導入が図れる よう努めた。	A	A	コロナ禍の影響により3年度の導入は見 送ったが、コロナ禍が落ち着いたら計画 的な導入を進めていく。		
	石見交通(株) 広益線	車両減価償却費 都市間連絡用2両導入	計画通り導入が図れるよう努めた。	A	A			
	宇部市交通局 新山口線 阿知須線 小野田線	車両減価償却費 ノンステップバス10両導 入 平成28年度導入数＝3両 平成29年度導入数＝2両 平成30年度導入数＝2両 令和元年度導入数＝1両 令和2年度導入数＝2両	計画通り低床車両の導入が図れる よう努めた。	A	A	今後も引き続き、計画どおりノンステッ プバスの導入を進めていく。		
山口県生活交通 確保維持改善 協議会	中国ジェイアールバス (株) D77系統 D79系統 D109系統 D128系統	車両減価償却費 ワンステップバス導入 平成27年度導入分＝3両 ノンステップバス導入 平成28年度導入分＝1両 平成29年度導入分＝0両 平成30年度導入分＝0両 令和元年度導入分＝2両 令和2年度導入分＝1両	計画通り低床車両の導入が図れる よう努めた。	A	A	計画通り低床車両の導入が図れるよう 努めていく。		